



# 公共施設の適正配置に向けた ワークショップ ～第2回～

日時：平成27年10月2日（金）  
午後6時00分～

場所：庁舎1階 102会議室

## ◆◆本日の予定◆◆

1. 開 会
2. 前回のおさらい
3. 今後の更新投資額と財政状況
4. グループワーク『再配置モデルの検討①』
5. 今後のスケジュール
6. 閉 会

# 本日の内容と進め方

- 18:00～ 1. 開会 司会：経営改革課  
18:05～ 2. 前回のおさらい【約10分】  
18:15～ 3. 今後の更新投資額と財政状況【約10分】  
18:35～ 4. グループワーク『再配置モデルの検討①』【約80分】  
途中休憩【約15分程度】

## グループワークの進め方(再配置モデルを検討する目的)の確認・共有

<約55分>

### ステップ① 再配置モデルの検討

- 各グループの対象施設について、“約20年先の茂原市”を想定し、公共施設の適正な配置（茂原市の身の丈に合った持続可能な公共施設の形づくり：用途が重なる施設や地域性の高い施設など）に向けた再配置モデルを検討します。
- 具体的には、対象施設（「施設・建物」と「サービス・機能」）について、前回の検討成果も踏まえ、以下の作業を行います。

「廃止」 ⇒ カードを取り除く（廃止スペースに移す）  
「売却・民営化」 ⇒ カードを取り除く（民間スペースに移す）  
「集約・複合化」 ⇒ カードを移動（他の施設カードへ移す）

<約10分>

### ステップ② 再配置による効果の確認

- 検討した再配置モデルについて、各カードに記載の数値をもとに効果を確認します。

<約15分>

### ステップ③ 話し合いの結果を発表

- 各グループが話し合った結果を発表し、全体で共有します。

## アドバイザーからの講評

- 19:55～ 5. 今後のスケジュール【約5分】  
・今後の委員会等の日程・内容について説明  
20:00～ 6. 閉会

## グループワーク『再配置モデルの検討①』

施設評価の結果をふまえ、施設の維持保全・複合化等による有効活用、無駄・不要な施設の廃止、民営化・売却など多様な手法を用いて、エリア内の公共施設の再配置に向けたシミュレーションを行う。

### <検討の視点>

現在のエリア内にある公共施設（施設、機能）の20年先のあるべき姿をイメージして再配置のあり方をシミュレーションします。

- ◎現状の公共施設数を維持した場合、年間約47.5億円かかる見込み（総務省ソフトによる試算）です。しかし、平成25年（2013年）の決算額における実質的な公共建築物の整備費用は約2億8千万円、インフラ施設に関する費用は約11億円、合わせて約14億円ですので、公共施設数を見直す必要があります。
- ◎今回のシミュレーションは、この数値を参考にしながら、過大な公共施設面積を適正な規模に改善していき、身の丈に合った持続可能な公共施設の形づくりを検討することが目的であり、行政サービスを減らす・なくすことが目的ではありません。
- ◎市民の皆さんが、どのような視点・理由で、そのような再配置モデルを検討したのか、そのプロセスを確認・共有することが重要と考えています。そのため、再配置モデルを考えた理由についても、付箋に記入して残すようにしてください。

### <茂原市の将来人口（推計）>

今後も一層の人口減少が見込まれ、少子高齢化もさらに進むと想定されます。2039年には約2万人近く減少する見込みです。

#### 《地域別将来人口（2039年）の推計》

カッコ内は2014年（平成26年）4月1日の人口



《地域別の地区別人口増減率》

地区	区分	2014	2039	2014-2039 増減率
茂原	0-14歳	3,407	1,916	▲ 43.8
	15-64歳	16,348	12,707	▲ 22.3
	65歳以上	6,947	9,341	34.5
	計	26,702	23,964	▲ 10.3
東郷	0-14歳	2,201	1,242	▲ 43.6
	15-64歳	11,044	7,541	▲ 31.7
	65歳以上	4,293	6,151	43.3
	計	17,538	14,934	▲ 14.8
豊田	0-14歳	882	377	▲ 57.3
	15-64歳	4,696	3,004	▲ 36.0
	65歳以上	1,959	2,390	22.0
	計	7,537	5,771	▲ 23.4
二宮	0-14歳	703	324	▲ 53.9
	15-64歳	4,038	2,202	▲ 45.5
	65歳以上	1,816	2,450	34.9
	計	6,557	4,976	▲ 24.1
五郷	0-14歳	1,116	370	▲ 66.9
	15-64歳	6,210	3,242	▲ 47.8
	65歳以上	3,094	2,962	▲ 4.3
	計	10,420	6,574	▲ 36.9
鶴枝	0-14歳	1,069	516	▲ 51.7
	15-64歳	5,952	3,262	▲ 45.2
	65歳以上	3,234	3,508	8.5
	計	10,255	7,286	▲ 29.0
本納	0-14歳	488	168	▲ 65.7
	15-64歳	3,573	1,567	▲ 56.1
	65歳以上	1,841	1,971	7.1
	計	5,902	3,706	▲ 37.2
新治	0-14歳	118	24	▲ 79.8
	15-64歳	982	310	▲ 68.4
	65歳以上	536	511	▲ 4.7
	計	1,636	845	▲ 48.3
豊岡	0-14歳	567	162	▲ 71.5
	15-64歳	3,397	1,497	▲ 55.9
	65歳以上	1,726	1,949	12.9
	計	5,690	3,608	▲ 36.6
総計	0-14歳	10,551	5,099	▲ 51.7
	15-64歳	56,240	35,332	▲ 37.2
	65歳以上	25,446	31,233	22.7
	計	92,237	71,664	▲ 22.3

## ●作業イメージ

施設カード 10

機能カード

機能カード

◆各グループで検討を行う公共施設（対象施設）について、左記のようなカードを用意します。

◆カードは、前回と同様に【施設カード（建物・ハード）】と【機能カード（サービス・ソフト）】から成っています。

【施設カード】は、建物の「大きさ」と「建築年数」によって区分されており、建物規模に対応したポイント（数字）が記されています。

## ●カードの動かし方（ルール）

◆【施設カード】と【機能カード】は、以下の区分にそって、それぞれ別々に動かすことができます。

「廃止」 ⇒ カードを取り除く（廃止スペースに移す）  
「売却・民営化」⇒ カードを取り除く（民間スペースに移す）  
「集約・複合化」⇒ カードを移動（他の施設カードへ移す）

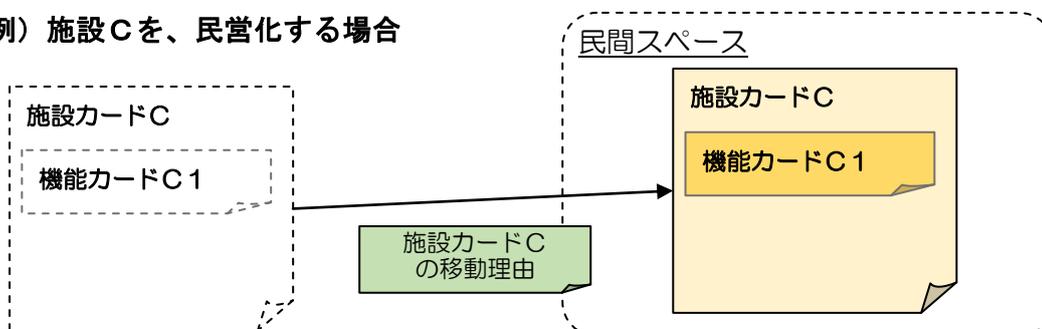
◆【機能カード】は、「廃止」「売却・民営化」「集約・複合化」のすべての移動をすることができます。

◆【施設カード】は、カード上に【機能カード】が無くなったときのみ「廃止」することができます。

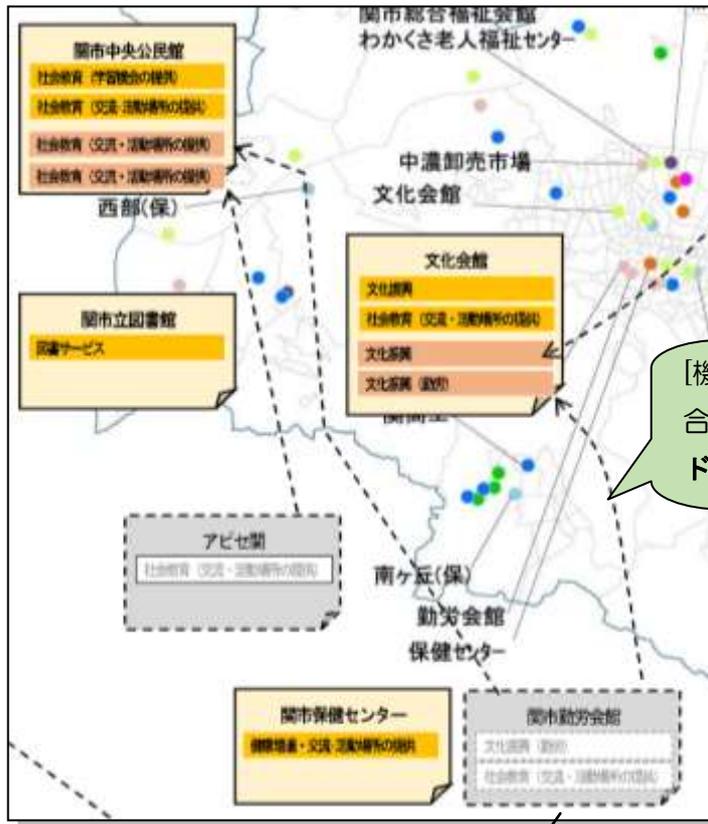
（例）施設Aの【機能A2】を、施設Bに集約する場合



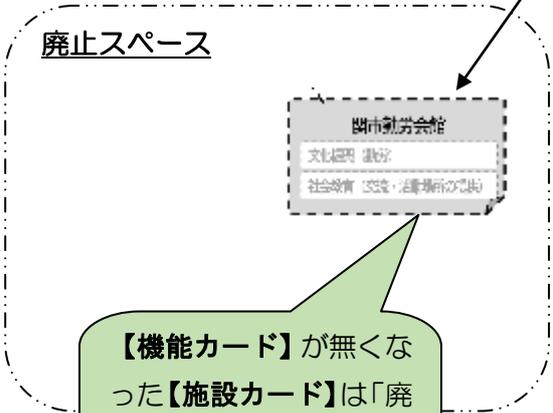
（例）施設Cを、民営化する場合



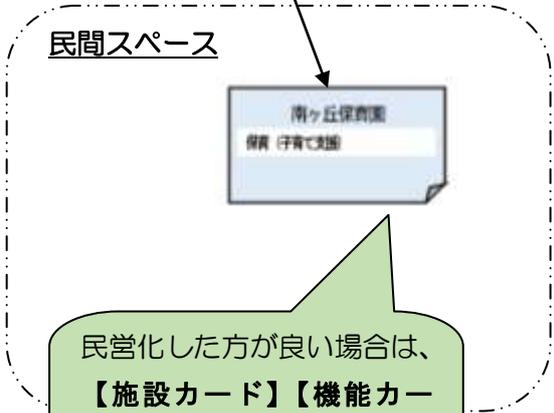
●作業イメージ（成果のとりまとめ方の一例（他都市での例））



「機能・サービス」を「集約・複合化」する場合は、【機能カード】を移動してください。



【機能カード】が無くなった【施設カード】は「廃止スペース」に移動することができます。



民営化した方が良い場合は、【施設カード】【機能カード】を「民間スペース」に移動することができます。

※これはあくまでとりまとめイメージの参考です。  
上記の内容にかかわらず自由に検討してください。